



平成 23 年 9 月 2 日

寝 屋 川 市  
京阪電気鉄道株式会社

『びわこ号』復活プロジェクトが本格始動  
～ 総合プロデューサーに橋爪紳也氏、アドバイザーに中川家礼二氏～

寝屋川市（市長：馬場好弘）と京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪  
市中央区、代表取締役社長：加藤好文）による「京阪電車寝屋川車両  
基地びわこ号復活プロジェクト」が、橋爪紳也大阪府立大学教授を総  
合プロデューサーに、中川家礼二さんをプロジェクト・アドバイザー  
にそれぞれお迎えし、本格的にスタートします。

## プロジェクトの概要

### 1．プロジェクト

このプロジェクトは、まちのイメージアップを図る『ワガヤネヤ  
ガワ project』の重点取組の一つであり、「元気都市 寝屋川」のシ  
ンボルとして、京阪電車寝屋川車両基地に保存されている往年の名  
車特急「びわこ号」を市民参画で復活させる取組みです。平成 26  
年度の寝屋川車両基地内の走行をめざします。

### 2．プロデューサー及びアドバイザーを設置

(1)総合プロデューサー 橋爪紳也 氏（大阪府立大学教授）

依頼の経緯：平成 21 年 5 月から「寝屋川市ブランド戦略アドバ

イザー」として『ワガヤネヤガワ project』策定に  
助言を行うなど市のブランド戦略推進に関わる学  
識経験者

業務内容 : プロジェクトを統括し、運営・演出・広報における  
指導・助言など

橋爪紳也(はしづめしんや)略歴

大阪府立大学観光産業戦略研究所長。大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授。大阪府政  
策アドバイザー、寝屋川市ブランド戦略アドバイザー、寝屋川市有識者委員会委員。

建築史・都市文化論専攻。工学博士。京都精華大学創造研究所所長、大阪市立大学都市  
研究プラザ教授などを経て、現職。大阪府特別顧問、イベント学会副会長、大阪府文化  
振興会議会長、大阪商工会議所都市再生委員会副委員長などを務める。

近代日本の都市開発思潮やイベントデザインについての研究等に加え、全国各地で市民  
参加型のまちづくりや地域ブランド創出事業の企画・助言・実践にも携わっている。

『大阪モダン 通天閣と新世界』(NTT 出版)、『増補 明治の迷宮都市』(ちくま学芸文庫)  
など著書多数。

## (2) プロジェクト・アドバイザー 中川家礼二 氏

依頼の経緯 : 上方漫才界屈指の話術に加え、熱心な鉄道ファンと  
しての豊かな知識、出身沿線である京阪電車を愛す  
る思いとこだわりからアドバイザーに最適な人材

業務内容 : プロジェクトへの助言、イベント出演等広報活動

中川家礼二(なかがわけれいじ)略歴

株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属漫才師。京阪沿線でもある大阪  
府守口市出身。兄・剛と漫才コンビ『中川家』を組む。「M - 1 グランプリ」初代チャン  
ピオン、「上方お笑い大賞」大賞受賞ほか舞台、テレビ、映画、CMで活躍。

著書に『笑う鉄道 関西私鉄読本』『笑う鉄道 上京編 関東私鉄読本』のほか、近著とし  
て『鉄塾 関東 vs 関西 教えて! 都市鉄道のなんでやねん』(すべてヨシモトブックス)。

### 3. プロジェクト・ロゴマーク



昭和9年製造の特急電車が醸すレトロ感を前面に出しシルエット風に表現（デザイン制作協力：株式会社宣成社）

### 4. 平成23年度の主な取り組み（予定）

- ・ 7月 「寝屋川市びわこ号復活基金」の設置
- ・ 9月 トレーディングカードの作成などグッズ展開開始  
メール配信サービス開始（イベント・特典・グッズ情報等）
- ・ 10月16日 京阪電車ファミリーレールフェアでのPR活動
- ・ 11月5日市制60周年記念イベントでのPR活動（寝屋川市駅前）
- ・ 1～2月 びわこ号の魅力について語るトークイベントの開催
- ・ 1月 フリーペーパー（キックオフ記念「ゼロ号」）の発行

### 5. 総工費（概算費用）/ 当面の基金目標額

80,000,000円

目標金額は車体の補修、台車入替、制御システム等の改造及び走行に要する経費です。復元仕様等により変更する場合があります。

#### （寄附金受付）

- ・ 平成23年7月受付開始（ふるさと納税の仕組みを活用）
- ・ 9月1日からクレジット決済も受付開始（「Yahoo! 公金決済システム」を活用）

## 6 . 基金現在残高（基金積立予定額）

1 , 0 0 0 , 0 0 0 円（平成 23 年 8 月 31 日現在）

\* 枚方信用金庫様ご寄附（平成 22 年 8 月）

## 7 . 推進体制

### ・ 実施主体：寝屋川市及びワガヤネヤガワ・ブランド開発委員会

「ワガヤネヤガワ・ブランド開発委員会」とは、寝屋川市のイメージアップを図る『ワガヤネヤガワ・プロジェクト』を市とともに推進する協働組織です。現在は、市と包括連携協定を締結している学校法人・大学（大阪電気通信大学（同大学）、大阪府立大学工業高等専門学校、常翔学園（摂南大学）、同志社（同志社香里中学・高等学校）、聖母女学院（大阪聖母女学院中学校・高等学校））から構成されています。

### ・ 総合プロデューサー：橋爪紳也大阪府立大学教授

### ・ プロジェクト・アドバイザー：中川家礼二氏

### ・ プロジェクト・パートナー：京阪電気鉄道株式会社